

報告事項

- 1 令和6年度（2024年度）第2回美術館協議会における委員御意見
に対する対応状況等について
- 2 令和7年度（2025年度）熊本県立美術館事業報告暫定版
（4月～12月）
- 3 令和8年度（2026年度）熊本県立美術館本館事業計画

報告事項1

令和6年度（2024年度）第2回美術館協議会における委員
御意見に対する対応状況等について

第2回美術館協議会でのご意見	対応方針
1 (1) グローバル化への対応 ・外国人宿泊客の需要を見込み、熊本市内のホテルの部屋や施設内の目に付く場所に案内等を置いて美術館をアピールしてほしい。 ・外国人がいつ来ても満足できるような、熊本ならではの部屋をもうけておくことも考えるべき。 1 (2) ②美術図書や資料の閲覧スペースの整備 ・美術館所有図書を活用した普及啓発について、限られたスペースを有効に活用するため、例えば展覧会に合わせて関連資料をピックアップするなど工夫が必要。 4 (1) 施設の適切な管理と快適な環境の整備 ・美術館に来ていただくための環境整備ができれば。例えばスクールミュージアムやミュージアムバスなどを高齢者向け施設と連携して活用するなど。	・特別展のチラシやポスターは以前から市内の主要ホテルや城彩苑、熊本城等に配布している。また、県内の観光連盟等にも配布し、美術館の広報に努めた。 ・常設的な部屋を新たにもうけるのは難しいが、改修後の別棟展示室を活用し、熊本藩主細川家の歴史文化を紹介していく。 ・吹き抜けホールの一 corner にブックラックを試験的に設置し、開催中の展覧会に関連した図録等を配架したところ。今後は来館者のニーズを把握しながら、更なる取り組みを検討する。 ・スクールミュージアム・ミュージアムバスの活用はすぐには難しいが、美術館に来ていただくことが困難な場合でも、福祉施設やクリニック等において鑑賞をお楽しみいただけるよう、まずはアートカードを活用した職員向けの研修やワークショップを実施した。

報告事項2

令和7年度（2025年度）熊本県立美術館事業報告暫定版
（4月～12月）

ア 展覧会活動について

I 細川・美術館コレクション展（常設展）

細川・美術館コレクション展では、公益財団法人永青文庫が所蔵する細川コレクションと、古今東西の様々な分野の美術品等を収蔵する熊本県立美術館のコレクションを併せて展示し、年間を通じて熊本の歴史文化や美術を総合的に紹介する。

1 第Ⅰ期細川・美術館コレクション展

第1室 細川家の大名道具

第2室 今西コレクションの浮世絵

第3室 熊本の近代美術と西洋絵画

会 期 令和7年4月29日（火・祝）～6月22日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

第1室では、永青文庫所蔵の細川コレクションの中から、熊本藩主細川家伝来の大名道具を展示。藩主が着用した甲冑や、華やかな蒔絵の鞍・鎧、藩主夫人の婚礼調度や細川家の邸宅を彩った屏風絵等を展示し、江戸時代に花開いた華麗な大名文化の一端を紹介した。

第2室では、NHK 熊本放送局の職員であった今西菊松氏が集めた「今西コレクション」の中から、代表的なコレクションである肉筆浮世絵を紹介した。

第3室では、熊本ゆかりの近代美術を紹介するとともに、当館所蔵の西洋絵画を併せて紹介した。

実績報告

観覧者数 2,506人

※関連イベント等は資料11～12P 参照

2 第Ⅱ期細川・美術館コレクション展

第1室 東洋工芸の精華

第2・3室 新収蔵品展

会 期 令和7年7月10日（木）～9月15日（月・祝）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫、熊本大学永青文庫研究センター

協力 肥後銀行

内容

永青文庫には世界的にも優れたレベルの東洋美術コレクションがある。それらは主に細川家16代当主・護立が蒐集した作品で構成され、地域や分野は多岐にわたる。護立は若いころから東洋美術に関心を持ち、現地への旅行はもちろん、公的な用務でヨーロッパを訪れた際にも美術品を蒐集し、多様な専門家とのネットワークを築いていた。本展では、唐時代の陶磁器をはじめとして東洋美術作品を展示し、護立の審美眼の高さと交友関係を紹介した。

また、令和6年(2024年)、細川家文書にこれまで知られていなかった織田信長書状が存在することが報じられたが、その文書を当館としてはじめて展示し、細川家文書から知られる信長と細川家の友好関係を紹介。

当館コレクションからは、江上波夫氏旧蔵の北方民族が使用した帯金具や馬具などの装飾品や、中世の阿蘇地方を統治した阿蘇大宮司家の居館跡から出土した中国陶磁器を展示。また、令和6年度に当館が新たに収集した作品を御紹介する新収蔵品展を開催。

実績報告

観覧者数 3,432人

※関連イベント等は資料11~12P参照

3 第Ⅲ期細川・美術館コレクション展

第1室 武蔵が熊本にやってきた！

第2・3室 にている美術

会 期 令和8年2月20日(金)~3月15日(日)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫、熊本大学永青文庫研究センター、一般財団法人松井文庫

協力 肥後銀行

内容

第1室では、剣豪として名高い宮本武蔵を特集する。寛永17年(1640年)に熊本を訪れた武蔵は、終の棲家をここに見出した。永青文庫所蔵の武蔵関連作品をはじめ、松井文庫に伝来した作品を一堂に展示し、剣術修行や指南のみならず、書画にもいそしんだ武蔵の晩年について紹介する。併せて、令和4年(2022年)に熊本大学永青文庫研究センターによって発見された武蔵の新史料も展示する。

第2室、第3室では「にている美術」と題して、当館の幅広い所蔵作品を紹介する。美術作品には、長い歴史の中で繰り返し描かれてきた画題や、共通する表現方法が見られる。本小企画では、鑑賞の手立てとして「類似点」に着目する。来館者に作品同士を比較して鑑賞して頂くことで、それぞれ作品への深い理解に繋げる、教育普及的な視点を持った小企画である。

4 その他常設展

[浜田知明室]

会 期 2階コレクション展と同時に展示替え

会 場 本館2階浜田知明室

主 催 熊本県立美術館

内 容

令和7年度の第Ⅰ期では、「権力へのまなざし」というテーマのもと、浜田が美術家としていかに社会を見つめ、それを表現したかという事柄について、《地方名士》、《おべっか》、《ボス》等9点の版画作品により紹介した。

夏季に開催した第Ⅱ期では、本年が戦後80年であること踏まえ、代表作群〈初年兵哀歌〉計16点を前期・後期に分け紹介した。なお、前期に展示したのは《初年兵哀歌（芋虫の兵隊）》をはじめとする軍隊生活に関する作品8点、後期に展示したのは《初年兵哀歌（風景）》など中国戦線を描いた作品8点であった。

第Ⅲ期では、当館で実施しているスクールミュージアム事業に関連した展示を実施予定。浜田知明作品は、単に当館で展示されるものではなく、スクールミュージアムにおいて、学校等にて展示される。この期では、スクールミュージアムで寄せられた学生たちの感想などをもとに展示を行う。

[装飾古墳室]

装飾古墳は全国で約700基確認されているが（平成30年現在）、九州の北・中部に集中的にみられ、県内には約200基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでいただいている。

Ⅱ 特別展

1 生誕 100 年 山下清展—百年目の大回想

会 期 令和7年7月11日（金）～8月31日（日）
会 場 本館第1展示室
主 催 熊本県立美術館、TKU テレビ熊本
協 力 山下清作品管理事務所
企画協力 ステップ・イースト
特別協賛 肥後銀行
協 賛 明治アニマルヘルス株式会社、株式会社磯崎工務店
後 援 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、FM791
内 容

「放浪の天才画家」として人々に親しまれた山下清（1922－1971）の画業を紹介する展覧会。東京・浅草に生まれた山下は12歳で入園した八幡学園でちぎり絵と出会い、これを発展させた「貼絵」の制作に没頭する中でその才能を大きく開花させた。18歳から日本各地へ放浪の旅に出かけ、旅先で目にした風景を繊細で色鮮やかな貼絵で表現、その完成度の高さから大きな注目を集めた。以降、油彩や水彩画、ペン画や陶磁器の絵付けなど、創作活動の幅はますます広がりをみせるが、「今年の花火見物はどこに行こうかな」という言葉を最後に、49歳でその生涯を閉じた。

本展では代表作《長岡の花火》をはじめとする貼絵を中心に、幼少期の鉛筆画や後年の油彩、ペン画、陶磁器の絵付けなどの作品約190点と関連資料をあわせて展示。テレビや映画で紹介されてきたイメージとは異なる、芸術家・山下清の真実の姿をご覧いただいた。

実績報告

観覧者数 23,210人
※関連イベント等は資料11～12P 参照

2 松井文庫創立40周年記念展 文武に生きた筆頭家老・松井家ただいま参上！

武家の嗜み、そして忠義

会 期 令和7年9月30日（火）～11月24日（月）
会 場 本館第2展示室
主 催 熊本県立美術館、一般財団法人松井文庫
共 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム
協 賛 日本たばこ産業株式会社
内 容

松井家は、江戸時代を通して大名細川家の筆頭家老をつとめ、肥後熊本藩の支城である八代城を預かった家である。その歴史は室町時代末期まで遡ることができ、徳川将軍家からも知行地（山城国内）を与えられた稀有な家柄でもある。

この松井家には、武器・武具、書画、能面・能道具、古文書などの文化財が伝来しており、

その総数はおよそ3,500件。これらの文化財は、主君である細川家に匹敵するほど良質なもの、現在は昭和59年（1984年）に設立された一般財団法人松井文庫の所蔵となっている。本展覧会では、忠義の家臣・松井家の歴史と華麗なる武家文化を紹介した。

実績報告

観覧者数 7,979人

※関連イベント等は資料11～12P 参照

3 創刊50周年記念 花とゆめ展 in 熊本

会 期 令和7年12月6日（土）～令和8年2月8日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

企画協力 白泉社、産経新聞社

協 賛 肥後銀行

内 容

令和6年（2024年）5月に創刊50周年を迎えた少女まんが雑誌『花とゆめ』。本展覧会は50周年を記念する「パーティー」をキーワードに、幅広い世代の方々に『花とゆめ』の作品が切り開いてきた少女まんがの世界、読者に届けてきたときめきと感動の数々を、約200点の原画やラフ資料などの関連展示でお楽しみいただいている展覧会である。

実績報告

観覧者数 2,896人（※12月末日現在）

Ⅲ アウトリーチ事業（巡回展・ミュージアムバス）

1 スクールミュージアム

美術館の収蔵品を県内の学校数か所に持参して展示・授業を行う。R7年度は浜田知明、マルク・シャガールの版画作品を下記のとおり展示した。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者集	保護者等 参加者数	合計
10月9日(木)	阿蘇市立阿蘇小学校	236	28	19	283
10月22日(水)	南関町立南関第一小学校	129	19	13	161
11月6日(木)	宇土市立緑川小学校	57	17	31	105
11月14日(金)	熊本県立菊池支援学校	180	100	18	298
11月18日(火)	菊池市立泗水中学校	425	44	0	469
11月21日(金)	山都町立清和・蘇陽南小学校	97	20	8	125
11月27日(木)	八代市立宮地小学校	137	15	8	160
総計	7か所 8校	1,261	243	97	1,601

2 ミュージアムバス

県立美術館から遠隔地にあり、県立美術館へ来る機会が少ない県内の小中学校校程度を、美術館へ招待するシャトルバス事業。(4回開催、5校招待)

※令和7年度は人吉・球磨、上天草を対象に実施。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者集	合計
7月17日(木)	湯前町立湯前小学校	29	2	31
8月2日(土)	あさぎり町立あさぎり中学校	24	1	25
10月16日(木)	相良村立相良南小学校・相良北小学校 (合同開催)	29	4	33
12月10日(水)	上天草市立中南小学校	18	2	20
総計	4か所 5校	100	9	109

Ⅳ その他の活動

1 特別開館日 ～手話通訳付きギャラリートーク～

通常は休館日である月曜日を臨時開館し、ゆっくりと展覧会をご観覧いただくための特別開館日を設ける。また、手話通訳付きのギャラリートークを開催。

(実施日)

・令和7年7月28日(月)

2 展覧会広報事業

(1) 印刷物及びインターネットによる広報

- ・ 展覧会スケジュール、展覧会のポスター・チラシ、美術館情報誌「View（年4回発行）」などの印刷物による広報及び各種情報誌・ウェブサイトへの展覧会情報掲載
- ・ ホームページ、X（旧 Twitter）、Instagram、YouTube 等インターネットによる広報
- ・ その他情報誌紙（WEB 含む）無料掲載多数
- ・ 県広報グループ等を通しての広報（報道資料の投込み、県政広報番組（テレビ・ラジオ）「県からのお知らせ」コーナー、各地区県人会会報、官公庁機関誌への情報提供等）

(2) 各種メディア等による広報（共催展等を除く）

- ・ RKK熊本放送ラジオ・テレビ広告（2展覧会）
- ・ くまにちすぱいす（熊本日日新聞社発行フリーペーパー）広告（1展覧会）

(3) 周辺施設等との連携による広報

- ・ 熊本城無料シャトルバス、熊本城周遊バス（しろめぐりん）、城彩苑への広告掲出
- ・ 近隣施設（主要宿泊施設・文化施設・観光施設・神社・病院等）の協力によるポスター掲示、チラシ掲出

(4) インバウンドに向けた広報事業展開

- ・ 多言語に対応したホームページの運用（7言語）
- ・ 年間スケジュールの多言語版（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）の作成

3 インターネット美術館の推進

- ・ 当館ホームページやX（旧 Twitter）、YouTube を利用し、自宅でも美術館や制作を楽しんでもらうための「おうちで美術館」等のコンテンツのさらなる充実を図る。
- ・ 令和3年度（2021年度）末に整備を完了した新データベースによる収蔵品管理システムについて、継続的に収蔵品データの更新を行っている。

イ 教育普及活動について

① 子ども美術館

期 日	関連展覧会	参加者数 事前募集、定員制
7月13日(日)	生誕100年 山下清展 「ちぎって、はって★巨大はり絵をつくろう！」	22人

② おしゃべり鑑賞タイム (①10:30~12:00 ②13:30~15:00)

期 日	場 所	内 容
美術館コレクション 会期中の第2日 曜日、各ワークショ ップ開催日	各展覧会場	「おしゃべりしながら鑑賞できる」時間帯とするもの。 ご家族やお友達とお話をしながら鑑賞を楽しめる。

③ 特別講演会

期 日	関連展覧会	講 師	参加者数
7月11日(金)	生誕100年 山下清展	山下清作品管理事務所 代表 山下浩氏	50人
9月30日(火)	松井文庫創立40周年記念展 武家の嗜み、そして忠義	一般財団法人松井文庫 理事長 松井葵之氏 八代市立博物館学芸員 宮原江梨氏	63人
10月11(土)	松井文庫創立40周年記念展 武家の嗜み、そして忠義	八代市立博物館学芸員 林千寿氏	71人
3月8日(日)	細川・美術館コレクションⅢ	熊本大学永青文庫研究 センター長 稲葉 継陽氏	

④ ミュージアムセミナー (時間 14:00~15:00)

期 日	関連展覧会	講 師	参加者数
5月17日(土)	細川・美術館コレクションⅠ	才藤 あずさ	13人
9月6日(土)	細川・美術館コレクションⅡ	萬納 恵介	10人
2月28日(土)	細川・美術館コレクションⅢ	藤本 真緒	

⑤ おわったアートのポスターさしあげます (10:30～16:00)

期 日	場 所	内 容
8 月 24 日 (日)	文化交流室	過去に全国で開催された展覧会ポスターを無料配布。

⑥ 特別展関連イベント及びその他ワークショップ

期 日	関連展覧会	参加者数
7 月 15 日 (火) ～23 日 (水)	「生誕 100 年 山下清展」フリーワークショップ みんなでアート 「ちぎって、はって★巨大はり絵をつくろう！パートⅡ」	約 350 人
7 月 24 日 (木) ～8 月 2 日 (土)	「生誕 100 年 山下清展」フリーワークショップ みんなでアート 「ちぎって、はって★巨大はり絵をつくろう！パートⅢ」	約 500 人
10 月 4 日 (土)	「松井文庫創立 40 周年記念展 武家の嗜み、そして忠義」ワークショップ 「雅な気分で合わせ貝を作ろう！」	25 人
10 月 25 日 (土)	「松井文庫創立 40 周年記念展 武家の嗜み、そして忠義」ワークショップ「むかしの人の気持ちになって手紙を書いてみよう！」	14 人

⑦ 学校団体の対応

県内外の学校団体の希望に合わせて、開催中の展覧会に関するスライドトークやギャラリートーク、アートカードを使用したワークショップ等を行っている。

⑧ 鑑賞教材「熊本県立美術館アートカード」の活用

(1) 鑑賞教材「熊本県立美術館アートカード」を活用したイベント・研修・出前講座

鑑賞ワークショップ「かぞくでアート☆」、教員・医療福祉関係者向け研修等

(2) 学校での活用

アートカード・セットの貸し出し、関連ワークシートの提供、使い方動画掲載等

⑨ その他

- ・ミュージアムグッズプレゼントキャンペーン(ポスター、ペーパーバッグなど)
- ・鑑賞ワークシートの提供
- ・チラシで SDGs「エコ封筒を作ろう！」(ワークショップ、学校等でのボランティア活動として)
- ・夏休み特別イベント「貼絵の表現を楽しもう！」(地元作家荒木聖憲氏の貼絵展示)

⑩ 令和7年度 学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

期日	学校・人数	内容	担当
8月21日（木） ～27日（水）	熊本大学 久留米大学 崇城大学 東京造形大学 広島大学 武蔵野美術大学 （6人）	・美術館の機能、運営等に関する講義 ・作品の調査法と取り扱いの実習 ・展覧会企画に関する講義と実習 ・当館イベントの補助と参加実習 ・展覧会企画のプレゼンテーション	香月 比呂 他 関係職員

ウ 永青文庫振興基金事業について

I 修復事業について

- ・ 令和6年度～7年度（2024年度～2025年度）にかけて、横山大観《雲去来》の修復を実施している。
- ・ これまで、調査事業の進展によって優れた美術品が確認されてきたが、修復を実施しなければ展示困難な作品もさらに発見されている。これらの中から、特に歴史的美術的価値の高い美術品を選んで、今後順次修復を実施する。
- ・ 修復を完了した作品の中から厳選して指定文化財を目指す。

エ 改修工事について

令和7年度は永青文庫展示室のLED化と空調機故障に係る改修工事を実施中。

	工事内容
令和7年度	①永青文庫展示室LED化（展示ケース含む） ②永青文庫展示室展示ケース改修 ③永青文庫展示室外壁断熱改修 ④永青文庫展示室巾木改修 ⑤永青文庫展示室空調個別熱源化等

報告事項3

令和8年度（2026年度）熊本県立美術館本館事業計画

ア 展覧会活動について

I 細川・美術館コレクション展（常設展）

細川・美術館コレクション展では、公益財団法人永青文庫が所蔵する細川コレクションと、古今東西の様々な分野の美術品等を収蔵する熊本県立美術館のコレクションを併せて展示し、年間を通じて熊本の歴史文化や美術を総合的に紹介する。

1 第Ⅰ期細川・美術館コレクション展

■横山大観作品の伝統と創造

■熊本の美150年

会 期 令和8年4月17日（金）～6月21日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

第1室では、「横山大観作品の伝統と創造」と題し、修復の完了した《雲去来》のお披露目を中心に、横山大観が日本絵画の伝統をいかに学び、いかに新たな表現を創出したかを紹介する。

第2・3室の「熊本の美150年」は、熊本県政150年を記念して、絵画を中心に150年の美術の歴史をたどる展覧会。第2室では日本画を展示し、杉谷雪樵をはじめとした矢野派出身の絵師を紹介する一方、高橋広湖・山中神風といった、上京して日本画で活躍した画家を取り上げる。第3室では、熊本の近代洋画として、パリで学んだ作画を熊本で教えた海老原喜之助、抽象画で活躍した坂本善三など、多彩な画家の作品を展示する。

2 第Ⅱ期細川・美術館コレクション展

■物語と美術

■熊本の工芸と新収蔵品

会 期 令和8年7月10日（金）～9月13日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

第1室では、「物語と美術」と題し、「物語」を題材とした絵画や蒔絵調度、装束などを展示し、大名・細川家の生活を彩ったイメージの世界を紹介する。

第2・3室では、「熊本の工芸と新収蔵品」と題し、令和7年度に収集した新収蔵品を紹介するとともに、熊本の陶磁器や漆工芸などを紹介する。

3 第Ⅲ期細川・美術館コレクション展

■国宝になった通潤橋

■熊本の美術

■熊本の近現代絵画と西洋美術

会 期 令和8年10月6日（火）～12月6日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

第1室では、令和5年に国宝指定された「通潤橋」について特集し、熊本藩政下における地域社会の在り方についてわかりやすく紹介する。また、第2室・3室では、収蔵品を通して熊本の美術等について紹介する。

4 第Ⅳ期細川・美術館コレクション展

■修復された黒き猫

会 期 令和9年1月8日（金）～3月14日（日）

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

第1室では、修復された菱田春草の名作《黒き猫》を期間限定展示。熊本での展示は修復後初であり、約4年ぶりとなる。その他、永青文庫の近代絵画を中心に紹介する予定。第2、3室では収蔵品を中心に熊本の美術を紹介する。

Ⅱ 細川コレクション展

永青文庫が所蔵する大名・細川家ゆかりの美術工芸品や歴史資料の展示を通じて、細川家の歴史文化を紹介する展覧会。

■細川家の茶道具と雛飾り

会 期 令和9年1月13日（水）～3月22日（月・祝）

会 場 別棟展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

内 容

細川家に伝来する茶道具の優品に併せて、細川家伝来の雛飾りを紹介する。

5 その他常設展

〔浜田知明室〕

会 期 2階コレクション展と同時に展示替え

会 場 本館2階浜田知明室

主 催 熊本県立美術館

内 容

熊本を代表する版画家・彫刻家である浜田知明の版画及び彫刻作品約10点を、各期で入替えながら展示している。令和8年度も各期でテーマを設けつつ浜田の画業を紹介する。

〔装飾古墳室〕

装飾古墳は全国で約700基確認されているが（平成30年現在）、九州の北・中部に集中的にみられ、県内には約200基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでもらっている。

Ⅱ 特別展

1 わたしたちのルノワール

会 期 令和8年7月18日（土）～9月13日（日）

会 場 本館第1展示室

主 催 熊本県立美術館、TKU テレビ熊本

内 容

19世紀フランスの画家、ピエール＝オーギュスト・ルノワール。明るく幸福な雰囲気に満ちたその作品は、ここ日本においても長く愛されてきた。本展覧会では日本各地の美術館に所蔵されるルノワール作品や、彼に影響を受けた日本の洋画家たちの作品を通して、遠い異国の画家であったルノワールが日本で親しまれるようになるまで、いわば、「わたしたちのルノワール」になるまでの道のりを辿る。

2 熊本地震から10年 仏像 国宝×肥後仏

会 期 令和8年10月9日（金）～11月29日（日）

会 場 本館第1展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

内 容

当館は開館以来、県内の広い範囲で仏像調査を行い、古代から続く肥後の仏像史を明らかにしてきた。本展覧会は開館50周年記念として、肥後の仏像彫刻を地域、時代ともに網羅的に取り上げ、あわせて京都に伝わった中世の肥後と深い関係にある国宝仏を公開。また、熊本地震から10年であることから、災害などの苦難を乗り越えて保存された仏像をご覧いただき、歴史を越えて守り継いできた人々の思いに触れていただく。

Ⅲ アウトリーチ事業（巡回展・ミュージアムバス）

1 スクールミュージアム

県内学校箇所校程度をめぐる巡回展 10月～12月実施予定

・浜田知明、マルク・シャガールの版画作品を展示予定。（6箇所程度）

2 ミュージアムバス

県立美術館から遠隔地にあり、県立美術館へ来る機会が少ない県内の小中学校校程度を、美術館へ招待するシャトルバス事業。（大型バス4台程度）

※開催ブロック（教育事務所管内で振り分ける）を、年ごとに変えながら実施予定。

イ 教育普及活動について

- ・ 展覧会に関連し、当館学芸員が展示のみどころやコレクションの概要等を紹介するミュージアムセミナーや、外部講師を招いた特別講演会を計画的に実施する。
- ・ 子ども向け（子ども美術館）や家族向け（かぞくでアート）ワークショップの他、参加者の年齢を問わない（みんなでアート）ワークショップを実施し、幅広い年齢層の方に向けて美術館に親しむ機会を提供する。

ウ 永青文庫振興基金事業について

I 修復事業について

- ・ 令和8年度（2026年度）には《寿松柏文蒔絵鞍、鎧》を修復予定。
- ・ これまで、調査事業の進展によって優れた美術品が確認されてきたが、修復を実施しなければ展示困難な作品もさらに発見されている。これらの中から、特に歴史的美術的価値の高い美術品を選んで、今後順次修復を実施する。
- ・ 修復を完了した作品の中から厳選して指定文化財を目指す。

エ 改修工事について

令和8年度は令和10年度改修工事に係る設計委託を行う予定。

	設計内容（予定）
令和8年度	①熱源、空調機、配管設備、ダクト設備、換気設備、自動制御装置及び動力の更新 ②収蔵庫4，5棟のハロン消火設備の更新 ③受水槽更新